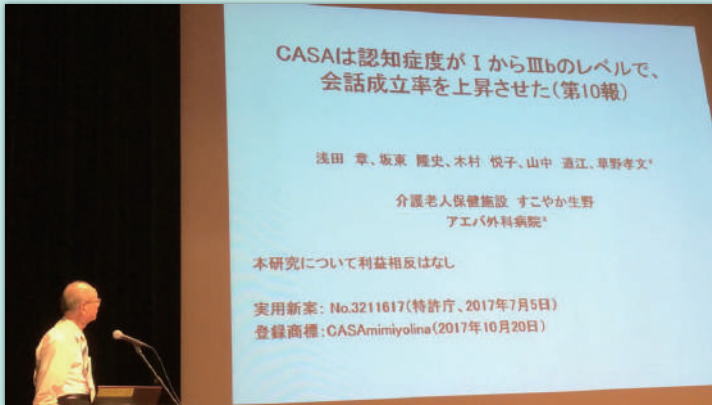




会話力賦活システム『CASA』の研究発表をしました！

2018年6月9日、10日に東京で開催された、自立支援介護・パワーリハ学術大会にて、すこやか生野 施設長 浅田 章 発案による、会話力賦活システム『CASA』の研究成果について3演題を発表してまいりました。

1.CASAは認知症度がⅠからⅢbのレベルで、会話成立率を上昇させた(第10報) : 浅田 章



2.CASAにより会話力(点数)が増強されて、顔の表情が14.2%明るくなり、積極性が4.6%増した(第11報) : 青木 竜太郎



3.CASAの導入により難聴や認知症の長期的な傾向を知ることができる(会話力健康手帳の勧め)(第12報) : 佐藤 愛子



ところで、CASAって何??

「傘?」「カサブランカ? 映画の題名?」いいえ、違います!

CASAは **Conversation Activating ASADA** の略。会話力賦活システムです。

- ・CASAは、まずは聞こえること、そして会話(対話)を楽しむことを目的とした会話力賦活システムです。
- ・すこやか生野では診察時にCASAを用いて、医師と利用者様・家族様の円滑なコミュニケーションをはかっています。

編集後記

記念すべき『アエバTIMES 創刊号!!』をご覧ください、誠にありがとうございます。
このアエバTIMESは、皆様にぜひ知っていただきたい、当法人での研究や取り組み・学会報告等を発信する場として誕生しました。
これから皆様に『アエバ会をもっと知りたい!!』とっていただける内容づくりを目指し、私自身も日々学び・楽しみながら、アエバ会最新情報をお伝えしていきます。



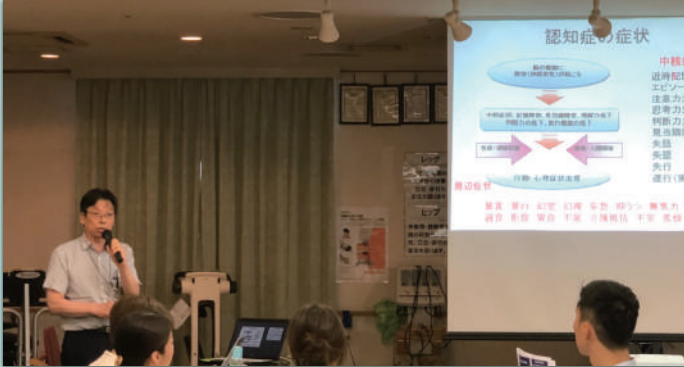
ごきげん脳で脳老化・認知症予防！ 聞こえるから、たくさん話したい！ CASA について

アエバ
ふれあいの会

2018年6月21日 アエバ会 アエバふれあいの会にて、法人内研修を行いました。

第1部 認知症の諸問題・ごきげん脳で脳老化・認知症を予防しよう！

医療法人アエバ会 理事長 草野 孝文



草野理事長より、認知症の定義から諸問題について、また、心の症状の改善に効果がみられた、メンタルトレーニング、DHEAs/ コルチゾール比についての講演がありました。



講演後、認知症の周辺症状についての質問や認知症の方への対応方法など、多くの質疑応答が行われました。



左：福田会長

アエバ会 Topic

草野理事長、ごきげん脳の研究が評価され、
大阪府内科医会 樋口学術奨励賞を受賞しました！

※「樋口学術賞」とは、大阪府内科医会 故樋口正大名誉会長のご遺志に基づき、その年に最も学術活動を活発にされた方に贈られる賞です。



第2部 『あれっ、きこえるぞ。だからたくさん話したい』 会話力賦活システム CASA について

すこやか生野施設長 浅田 章



浅田施設長より、法人スタッフ向けに CASA（会話力賦活システム）について、講演がありました。



CASA について、初めて聞くスタッフにも、とても分かりやすい内容で参加者はシステムに興味大。ケアをする上で、コミュニケーション障がい要因の一つとなる難聴…実機を体験し、思っていた以上の使用感（聞こえ感？）に、アエバ外科病院でもシステムの導入を希望するスタッフが多数いました。



アエバふれあいの会とは

医療法人アエバ会と地域の皆様・各事業所様との顔の見える関係づくりを願い、皆様との交流の場を持たせていただきたいという思いから、2015年2月に誕生し、現在に至っています。

この研究について、実際にお聴きになりたい方必見！

2018年9月23日(日)・24日(月) 大阪国際交流センターで開催されます、NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク主催『第24回 全国の集い in Osaka 2018』にて、この講演を生で聴いていただけます。講演日時：9月23日(日) 12:30～13:30 ランチョンセミナーにて開催！！

※参加費等の詳細は、右記の大会公式ホームページをご覧ください。

皆様のご参加、お待ちしております。

大会公式ホームページ
<http://tsudoi-2018-osaka.com>

